

# 思い出の1ページ



## 長洲小学校

### 運動会への取組を通して学んだこと 6年 尾上 温弥

ことしの運動会では、僕たち子どもたちが主体的に動き、一から作り上げる運動会をめざして頑張りました。どんな運動会の名前にするか、赤・白を分けるかどうか、点数を付けるかどうか、種目は何を行うかなど自分たちで考えました。

また、種目のリーダーを決めて、必要な時間を計算したり、あまり密にならないようにする工夫を考えたりしました。

その中で僕が運動会までの取組を通して一番頑張ってきたのは、南中ソーラン節です。種目のリーダーが中心となり、踊り方や並び方、教え方を考えて練習を進め、みんなで協力して練習を頑張りました。南中ソーラン節は、5年生と6年生が合同で踊る種目だったので、初めて踊る5年生に分かりやすく教えることを特に心がけました。

ことしは新型コロナウイルスの影響もあり、練習時間があまりとれなかったけれど、僕の中では今までで一番素晴らしい踊りができたと思います。5・6年生全員で、南中ソーラン節を踊れることや、日頃から見守ってくださる地域の人、いつも育ててくれている家族に対する感謝の気持ちを踊りに込めようと話し合ったのもよかったと思います。

運動会の名前は、「みんながかがやくエンジョイ運動会」に決めました。そして、いい運動会になるためのキーワードとして、児童会のみんなで「全力」「挑戦」「助け合い」という3つを考えました。その言葉も、全校児童でしっかり守れたと思います。

これから、この運動会への取組を通して身に付けた、何事にも「全力」で取り組むこと、いろいろなことに「挑戦」すること、みんなで「助け合う」ことを大切にして、残り半年しっかり学んでいきたいです。



## 清里小学校

### スポーツフェスティバル

10月4日④に、スポーツフェスティバルを行いました。例年は、運動会として5月に1日かけて行う大きな行事ですが、本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、種目や来校者などを縮小・工夫・制限し、半日で行いました。短い練習期間ではありましたが、児童は集中して取り組み、本番は、一生懸命に走り、踊り、例年と変わらないくらいの感動を与えてくれました。「ONE TEAM 希望を胸にキセキをおこそう」のスローガンのもと、赤団、白団とも団長を中心にまとまって各団が競い合うとともに、応援合戦の最後には、オール清里として赤団・白団と一緒に、清里小の発展と、コロナウイルス感染の終息を祈って、校区全体が元気になるよう、力強いポーズでエールを贈りました。



### 1・2年合同見学旅行

10月15日⑤、爽やかな秋晴れの中、1・2年生が合同で荒尾干潟水鳥湿地センターと大牟田市動物園に見学旅行に行きました。出発式の時に確認した、「よく見て、学ぶ」という目標どおり、児童は、湿地センターでは珍しい動物を、動物園ではお馴染みの動物を、じっくり観察して、今まで気づかなかった発見をしていました。海岸では、気に入った貝殻を拾いながら、引いていく潮の早さに驚いている児童もいました。見学中は、2年生が班長・副班長となり、班員に声をかけながら上手に班行動をすることができました。楽しく、充実した体験見学をとおして、また一つ成長した低学年です。

